

4 April 行事予定表

書道教室 18:30~
しゃぼん玉会 19:30~
3B 3B体操 13:30~
なごもう会 12:00~
囲碁クラブ 19:00~
色紙に書こう会 9:30~
版画教室 19:00~
公民館主催事業

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
27	28	29	30	31	1 コールやしろ9:50~ 老人クラブ13:30~ 地区振理事会 19:30~	2
3	4 地区振総会 19:00~	5 給食サービス5班 9:00~ すみれ会 14:00~	6 地域安全総会 19:30~	7 社句会 14:00~	8 コールやしろ 9:50~	9 スポ少卓球部総会 19:00~
10	11 老人クラブ総会 13:30~	12 サンプラー会 13:00~ 狂犬病予防注射 14:05~14:35	13 医療生協四王寺支部 9:30~ すみれ会 14:00~ 元気体操13:30~	14 はつらつ教室 12:30~ バステルアート教室 10:00~	15 コールやしろ 9:50~	16 交通安全協会 久米支部総会 19:30~
17	18 選句会 9:30~	19 給食サービス6班 9:00~ 川柳会13:30~ すみれ会14:00~	20 卓球教室9:30~	21 しゃぼん玉 19:30~ 事務室閉室午後より 公民館職員研修会のため	22 コールやしろ 9:50~	23
24	25	26 サンプラー会 19:30~	27 すみれ会 14:00~	28 はつらつ教室 12:30~	29 昭和の日 社地区敬老会	30

平成28年3月22日現在

公民館主催事業にご参加下さい TEL.0858-28-2155



「ありがとうございました」と感謝の言葉を述べる李先生。

平成27年度卒業式が18日、社小学校で行われ60名の子どもたちが学舎を後にした。
6年2組最後のホームルームで、担任の李先生は、子ども達を讀み励ましたあと、最後に深々と頭を下げて「ありがとうございました」と震える声で感謝の言葉を述べた。同時に子ども達と保護者からすすり泣く声もあふれた。
50年前、佐野山の頂上に立つ関金小学校6年1組の最後のホームルームには、宮沢賢治の詩がごだましていた。「雨ニモマケズ 風ニモマケズ。私もみんなも、涙をこらえて必死にぞらんじた。ところが、担任の先生が堪えきれずに泣き出した。みんなも、それに続いた。
時代が変わっても、卒業の日の感動は変わらない。愛情に満ちあふれ、清らかな。
卒業式では子ども達一人一人が将来の夢を語り、藤井校長から卒業証書を受け取った。校長は式辞のなかで、夢を成し遂げる大切さと同時に「夢を成し遂げた人に共通するのは、途中で大きな挫折感を味わっていることだ。とてつもなく大きな苦しみだっている。その苦しみを乗り越えてこそ夢が達成できる」と、いずれ教子たちにも訪れるだろう試験の時を氣遣い、決して負けないように、ガンバレと、精一杯の愛情を込めてエールを送った。(鈴木)

ありがとうございました

- 金一封 小谷 嘉則様 (国分寺)
- (故)妻 須賀子さん 八十三歳
- 金一封 児玉 拓様 (国府)
- (故)母 節子さん 八十五歳

社公民館施設充実費として

社公民館主催 音の箱第4弾開催

音の箱第4弾は、わらべ館童謡コンサートを迎えて社小にて開催いたします。コールやしろも出演されます。
みなさまのご出席をお待ちしています！
▽日時 5月28日(土)

▽場所 社小学校体育館

▽出演者
うた・山尾 純子
ピアノ・野口 慶子
(わらべ館専属)

社公民館主催 ヨガ教室開催

今流行のヨガを一緒にやりませんか？なたでも気軽に参加できます！
▽日時 5月26日(木) 19時~

▽講師 岸田将志さん

▽定員 20名

※申込みは社公民館まで



★体育行事日程 社地区グラウンドゴルフ大会

恒例の社地区グラウンドゴルフ大会は下記の日程でおこないます。大会は2ラウンド合計戦で、団体戦・個人戦で争います。
▽日時 5月15日(日) 午前8時30分~

▽場所 法華寺畑遺跡公園

社地区ソフトバレーボール大会

▽開催日 6月12日(日)

▽場所 社小学校体育館

※今年は6人制から4人制に変更になります。

やしろ公民館報 399号

平成28年3月31日発行
編集発行/社公民館・館報専門委員会
鳥取県倉吉市国分寺74-1
TEL. 0858(28)2155 FAX. 0858(28)6031

ふみちちゃんげゆくー！ 社突撃レポート

★第1弾★
馬場町編

取材日 / 平成28年3月9日
館長 / 福田信夫さんに取材

集落支援員・ふみちちゃん(安藤さん)が社地区自治公民館を訪ねる新企画です。第1回は馬場町を訪問しました。



福田館長



私ごとふみちちゃんは、平成18年父の介護のため倉吉に帰ってきたとき、2年ほど馬場町の雇用促進住宅に住んでいました。なので馬場町は親しみのある町です。幼少期から成人して倉吉を出る間に、馬場町という町がどうあったのか記憶に残っていないのですが(大変申し訳ない...)、今回、集落の紹介記事をシリーズ化するのに、まず第一号に選ばせていただいたのもそんな理由からでした。

町のはじまり

現在のような町の形の始まりは昭和51年。県営和田団地の建設に伴う造成が始まり、昭和52年には雇用促進住宅も建設され、周辺の土地が県住宅供給公社により住宅地として分譲されました。福田館長もかれこれ40年ほど前に、ここに家を建て、泊から転居してこられたそうです。

昭和56年、馬場町自治公民

館が誕生。初代館長は西村光生さんでした。

地名には何かしらの由来があるのでは？と思ってお尋ねしたところ、定光寺にお参りにくる人たちが沢山馬をつないでいたからではないか、というお話が伺えました。取材から公民館に戻り、ネットで色々調べているうちに面白い記事を見つけたのです。



定光寺

真実の古代史(伯耆国の真実の歴史)…という興味深いブログでしたが、そこに馬場町が登場していました。

なんと！第15代応神天皇(在位354年〜394年)の皇居である軽島之明宮(かるしまのあきらのみや)が実は倉吉市古川沢にあり、大和の軽の坂上の厩(やまご)のかる

ふみちちゃんの馬場町レポート

★町の歴史

町が出来て40年ほどになる(馬場町が町として誕生したのは昭和49年くらい？)昭和51年 県が造成 県営住宅が建設された
昭和52年 雇用促進住宅建設

その後 周辺が宅地として開発、住宅供給公社により分譲が開始され、住宅が建ち始めた
昭和56年 馬場町自治公民館誕生 初代館長・西村光生さん



集落支援員
ふみちちゃん

★町名の由来

その昔、定光寺(和田)にお参りにくる参拝客が馬を沢山つないでいたからという説がある。
ネットで調べたところ、第15代応神天皇(在位354年〜394年)の軽島之明宮が鳥取県倉吉市古川沢にあり、

現在の馬場町に新羅王から献上された馬2頭の厩(うまや)があったという、興味深い記事を発見しました！厩(うまや)＝馬場(うまば)＝馬場(ば)に変化したとしたら、相当歴史ロマンを感じられる説です！

のさかうえのうまや(という、新羅(シラギ)朝鮮半島の古代国家)の王から献上された馬2頭の厩(うまや)が現在の馬場町にあったと記載されていました。(心神天皇の皇居は奈良県橿原市大軽町の春日神社というのが通説)

2頭の馬が飼育されていた厩＝馬馬＝馬場と変化して残っていたとしたら：壮大な歴史ロマンを感じられるエピソードではありませんか！

馬場という名前がいつごろから語り継がれていたのか…もう少し調べてみたくなりま



馬場町夏祭り(第10回)

すよね！

町の特徴

馬場町の特徴は、やはり県営和田団地(馬場団地)でもいいの(…)を抱えた住宅地。農地は殆どなく、県営住宅とその他の住宅の人口比率は半々くらいだそうです。

公営住宅の特性上、子育て中の若い世代の入居が多いことも特徴の一つ。もちろん出入りはありますが、平均して子供の数も保たれ、それが子供会活動や公民館活動への関心の高さにも繋がるのではないのでしょうか。自治公民館加入率が96%(社地区全体の平

町のこれから

均(82%)と高いのも領けます。また、住宅地として開発分譲されてから「40年」という年月もポイント。ここ馬場町で生まれ育ち、一度は町を出ても帰ってきた住民の方々が、同級生・同窓生としての結束を活かして、祭りの実行に携わっているのが、大きな強みであり魅力と言えるでしょう。

今年2年目の福田館長も精力的に活動されています。今年に入って防災マップを作成。支え愛マップの作成やふれあいいきサロンの立ち上げなども検討されていて、少子高齢化やそれに伴う防災などの集落機能の維持について、高い意識を感じました。館長さんをはじめ役員さん祭りの実行委員さんたちの強固な連帯感があればこそ、住民の出入りに関係なく自治加入率の高さも保たれ、様々な問題解決に向けて、行動できるのでしょう。馬場町の今後の取り組みを、微力ながら一杯支援したいと思えます！

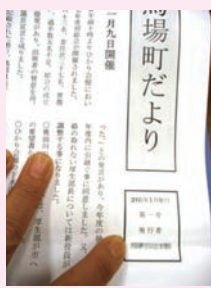
★町の特徴

・県営住宅を抱え、子育て中の世帯と高齢世帯が混在した住宅地。畑はない。
・県営住宅と一般住宅の人口比率は半々くらい。
・県営や賃貸アパートも多いが、自治公民館加入率が高い。(8班編成)住民登録世帯数182、加入世帯数175、加入率約96%(社地区は

82%)
・一般住宅は40年前後居住している人が多い。ゆえにここで育って、一度は町を出ても帰ってきた子どもたちが同級生・同窓生としての結束を活かし、祭りなどの実行に携わっているのが強みであり魅力なのでは。

★町の自慢

- ①自治公民館加入率が高いこと
- ②平成17年1月から発行している馬場町だより
- ③夏祭りがにぎやか(昨年第10周年 実行委員会形式)



馬場町だより

【取材後記】

取材を終えて、自分が住んでいた頃の記憶も色々たどりながら、町内をぐるりと回ってみました。今も当ても単身でしたので、夏祭りには参加しませんが、雇用促進の4階から見える祭りの様子が、とても賑やかで楽しそうだったのを思い出しました。福田館長さん、ご協力いただきありがとうございました。



ひかり会館(自治公民館)



県営住宅・雇用促進住宅が建ち並ぶ馬場町



国登録有形文化財「矢城家住宅主屋」

倉吉市横田の「矢城家住宅主屋」がこのほど、国の登録有形文化財(建造物)として登録された。矢城家は明治時代の初期、戸長を務め横田、国分寺、今倉(福光)、島田(秋喜)を管轄する戸長役場が置かれた。主屋は大正2年に建築され、今も住居として使われている。春の好日、矢城家を訪ねた。

(ホームページ委員会の掲載記事を参照)

文化審議会によると「矢城家住宅主屋」は「東面して建つ木造2階建、棧瓦葺。一階は南東の庭面に面して座敷を配した六間取で中央に式台を構える。床上三方に縁と吹放しの下屋を廻らす。居室部中央の回り階段やトラス小屋組など

近代の特徴を備えた、雄大かつ質の高い住宅で、農村景観に際立つ存在となる」としている。

2013(平成25)年に築100年を迎えた主屋は、棧瓦葺、木造総二階建ての農家建築で、建築面積は約76㎡、入母屋造りの大屋根を支える小屋組みには、斜め方向に木材を用いて、三角形を基本単位として、その集合体で構成する構造形式「トラス構造」となっており、近代的特点を備えている。



100年を経ても雄大な構えを保つ矢城家住宅



登録の決め手となったトラス構造



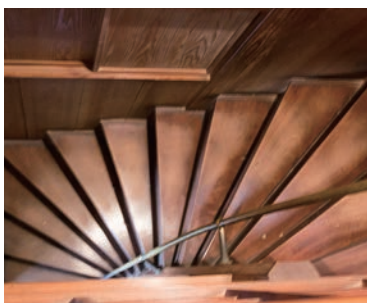
16代当主・矢城良太郎氏



桁材の床柱、落掛等

表座敷の床の間には、床柱などに銘木の桁材が多く用いられている。

主屋の中央に、螺旋状の回り階段が設けられ、二階には表側に8畳、6畳、8畳、8畳の座敷があり、建具をはずせば30畳の大広間となり、昭和時代には当主の結婚披露宴が行われていた。



曲線の手すりを持つ独特な回り階段

十間の左手に8畳の玄関があり、一段低くなった板敷きの「式台」(主人の客を送り迎える玄関)とはガラス戸で仕切られている。

縁側では、軒を支える支柱が縁側から離して立てられ、座敷と庭とが開放的に繋がっており、一体感を与えている。

主屋に居住されている当主矢城良太郎氏は、矢城家16代に当たる。



ペンリレ NO.299

「気合と根性」

矢間 加須美 (秋喜新町)

ある日の夕方、約30kgの米を精米して家に帰りすぐ炊事をしていた。食材を切った瞬間腰に違和感が固まっていく感じだ。やはい!すぐにしゃがみ込み冷蔵庫の前で横になった。・痛い・

ぎっくり腰?でも、魔女の一撃と言われる鋭い痛みではなかった。じわじわと腰が重くそして痛くなり、首を下に向けてとズキンと腰が痛む。骨盤の上に乗身を乗せることが怖い腰に力が入らない。仰向けになり膝を立てて腰を浮せてみたが力が入らず動かない。安静にしていればそんなに痛みは無い

…ネットで調べたらこれも

ぎっくり腰の種類らしい。病院へ行ったら腰痛症と診断を受けた。その20日後家族のインフルエンザがうつった。高熱で陣痛かと思うくらい腰が痛かった。気合と根性で米をかついた挙句ぎっくり腰となり、気合と根性でインフルにはかからないと言っていたのにウイルスを前にあえなく撃沈である。この話を友人にしたらこう返ってきた。

「若いつもりでも現実いろいろある歳になったよね。わた・した・ち」 うぐごもっとも!

次回は 大谷の鷹見直美さんです。



やしろのチャレンジ 4

がんばるやしろの若者を紹介する新企画

ブラジル留学を体験し フットサルのプロを目指す

井勢 天智さん (大谷茶屋)

フットサルのプロ選手を目指す若者・井勢天智さん(20歳)を紹介します。

井勢さんは現在、働きながら鳥取県フットサルリーグのタルタルガに所属し、プロを目標に練習を重ねています。



ブラジル留学時代にチームメイトと ●が井勢さん

す。タルタルガは昨年の全日本フットサル選手権鳥取県大会で優勝し中国フットサルリーグに鳥取県のチームとしては7年振りに加入。見事プロの夢の実現へのステップアップを果たしました。

父親がレスリングで活躍した高校の体育教師という家庭に育ち、スポーツマンとしての強い身体を持って生まれました。父親からレスリングの指導を受けながら、やがて社チャップでボールを蹴りながら「ベッカム」や「ジダン」といった選手に憧れるサッカー少年の道を選ぶことになりました。

中学ではFCカミノで週5日、東中のサッカー部で残りの2日と、サッカー漬けの毎日。実力も伴って小学校6年から県代表と飛躍しました。

高校では鳥取県を代表するサッカーの名門・米子北高校に入学、2年からはAチームのFWと、順調に実力を身につけ、通算6回の全国大会出場を果たしました。

転機が訪れたのは大学の受験失敗。浪人の道を選ぶが、FCカミノの指導者の歩んだ道と同じサッカーの国・ブラジル留学を選びました。母親は治安を心配しましたが、父親は「海外に行って強くなつて来い」と激励。大学資金を留学資金に充てて、バックアップ。

しかし、ここで、大きな壁にぶつかります。ブラジルではU20に所属し、計3チームに加わりましたが、現地の若者の子ども頃の夢はサッカーのプロ選手。妥協のないハングリーさに圧倒されたそ



友人に恵まれました。夢はあきらめない。

井勢さんは、帰国後、サッカーからフットサルへと転じました。レスリングで鍛えた強靱な体幹がフットサルに適していると判断したからです。タルタルガの代表・河原さんは元フリーゲのフットサル選手。自らも、フットサルのプロの道を目指すことに。

形は変わってもプロの夢は変わらない。一直線にその夢をつかんで欲しいと思います。(鈴木)

やしろいかにありー! 新生やしろ創造プロジェクト

公民館指定事業のテーマが決まる

昨年1年間やしろカフェという形で住民の皆様の意見をお聞きした結果、H28年度の公民館指定事業は「やしろここにありー新生やしろ創造プロジェクト」と題し、1年目の今年は公民館事業の若者の参加率の増加を目指す事業を展開していきます。

5月か6月に、第一弾とし

て、生まれやしろの若者たち!ということで、レクリエーション交流会のあとやしろカフェを開催し、若者たちの交流会をします。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

詳しい案内は、HP、地区の放送等でご案内致します。

社の仲間と いきいき たのしむ みんなの広場



井手畑集落の支え愛活動支援 事業を学ぶ 社地区自治公民館役員研修会

平成28年3月12日(日)社地区自治公民館役員研修会が開催されました。
今回の研修は、社地区でも少子高齢化が進み今後高齢者が安心して暮らすための取組や防災対策等が重要になることから、これらの事に對し現在積極的に取組まれている井手畑地区の事例を、各公民館役員56名が参加し研修しました。

「井手畑集落 わが町支え愛活動支援事業について」井手畑公民館元館長・岩間隆二氏を講師に招き、地域では「支え愛マップ・防災マップ」等避難時の要支援者対策等を話し合い、実際に防災訓練を実施し、担架の不足等をどのように解消するか又先頭に立って住民を指導される方ができたり、近所同士の声掛けが見られるようになり、住民の協力が得られるようになったとの報告がありました。
講演後、集落支援員の安藤氏から防災力チェックシート



の説明があり、各集落で弱い部分を確認し今後の活動の参考として欲しい又、今後の仕事として欲しいと、今後の仕事として高年齢者対策等の充実を図っていくための協力依頼がありました。
今回の研修は、各公民館役員が集落の現状を把握し、これからの取組の参考となる充実した研修会となりました。

同研修会を開催しました。
今回は給食ボランティアと福祉協力員を対象とした30名が参加し、給食供給面から「栄養面から見た給食と供給」、「衛生面から見た調理」、「倉吉市の給食サービスの実態」、高齢化社会に向け「正しい認知症の理解と対策」を各関係機関や地元の講師の方にわかりやすく講演して頂きました。
特に今回は、地元の講師で食品衛生コンサルタントの三上二治氏からの、5S(整理、整頓、掃除、清潔、習慣づけ)の話は、給食を作る側として社公民館調理室の利用について課題が見えてきました。
今回の研修は今後の活動に



天野さんらを講師に 春の3品に挑戦 男の料理教室

男の料理教室が25日10時から開催され、天野文世さん安藤文江集落支援員を講師に招き、「あさり」と菜の花の炊き込みご飯「アツフライ」「ささみ」と生姜のすまし汁」の3品に挑戦しました。
ときはきと魚をさばく手さばきの実に見事な方もあり感心しっぱなしでした。出来上がりに満足しながら参加者全員で美味しくいただきました。次回は「筍三昧」今から楽しみです。

パステルアート教室

みなさまのご参加をお待ちしています！(20名程度)
▽日時 4月14日(木) 10時～
▽場所 社公民館
▽材料費 2000円
※締切は4月12日(火)
公民館主催事業

傘の忘れ物について 保管は4月末まで

社公民館を利用して頂いた方の、傘の忘れ物があります。長期忘れ物につきましては、4月いっぱいまでは保管期間としますが、その後は処分します。心当たりのある方は、引き取りにおいでください。



私の作品

「社公民館 会員による直筆短冊展が社公民館ロビーにて開催されています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。」



「しほじりをチャンスに変える達磨さん」
大羽 雄大



「父母が示す背中に追いつけぬ」
牧田賀寿恵

社句会 217

昨夜の雨新たにしたる落椿
掌にのせて四年振りねと難飾る
老木の思い出多き梅味さぬ
雲雀野や手を振りほごき子の駆くる
ようやくに三つ四つ摘みし路のたう
くれなゐを極め入り日の落椿
春燈し明日の句会へ気の逸り
朝起きは日差しとともに福寿草
春障子庭木の陰を写しけり
(追悼句)
古雛やともに天寿をつくしたし
千年の椎の香守りて逝かれけり
故角 博氏は2月26日逝去(享年九十六歳)
俳句・川柳を生涯の趣味として親しまれ、やしの文芸振興に寄与されました。故人の遺徳を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。
(今月の二句)
春の海終日のたりのたりのかな 蕪 村
むらさきの風となるとき諸葛米 稲畑 汀子
☆4月の社句会は、4月7日(木)午後2時より社公民館で開催します。

社川柳会 357

「とし・年・歳」
ときどきは自分の歳を問いかける
終身は八十と保険屋がいう
歳をとる長寿社会のお陰かな
年老いて親しい人の名が出ない
頼られることが嬉しい年齢になり
年金のベースアップは夢の夢
歳ごとに体重増加アップアップ
歳とって脳味噌の味古くなる
五十代の肌年齢に笑みこぼれ
こけました七十五歳ホーホケキョ
歳重ね磨きがかかる頑固者
歳老いて定年のない農業は
年の功自慢にしても智恵はない
もう五年時が流れて薄墨に
四年先オリンピックを見るまでは
歳重ね孫たぐさんに囲まれる
歳重ね昔とかわる難祭り
同い年妥協の虫がへそ曲げる
八十年日記にしみる泥と汗
飾っても鏡は歳を知っている
次の課題は「中」「こ」「ご」です。
4月15日(金)までに公民館へお届け下さい。
社川柳会は4月19日(火)午後1時30分から。

つながらなくても有意義な研修会となりました。